

あいら

発行所 鹿児島県姶良郡姶良町役場
発行人 池田盛孝 編集人 大村一男

(印刷所)
キング堂印刷所

町の人口動態

(6月1日現在)

世帯数	6,524戸		
人口	男女計	10,634人	
		12,205人	
5月の	出生	18人	
		死亡	16人
		転入	186人
	転出	145人	

「品種更新」で米の増収運動展開

昭和四十三年度の施政方針については「広報あいら」前号で申し上げましたが、農政の重点施策の一つとして本年度は先ず第一に、水稻品種更新による米の増収運動を展開いたしております。ご承知のとおり、本町は農業が主体であり農業の振興が産業開発の基礎となることは今更申し上げる必要もないと思っております。

下表の示すとおり、総額約一億二千三百万円の内、米による生産額の比率は、第一位で約八億円であり、仮に米が一〇%増収すると仮定しますと、約八千万円の所得が伸び他の生産物をはるかに上回ることとなります。そこで町内全農家が対照となりますので、共通する米の増収運動を第一位として併せて施設園芸、畜産、養蚕所得等経営の合理化を図り、農家所得の向上を目的とした次第であります。



写真は高樋地区稲作総合改善モデル集団栽培苗代作業の状況

係団体一致協力しすでに二回におたる各部落座談会等も開きましたこの計画の説明を申し上げ今後さらに最大の努力をする所存であります。特に品種更新につきましては、県の奨励品種について、その更新率は本年度約五〇〇町歩(総面積に対し約四二%)の更新がなされ、非常な好成绩を示しているのであります。今後はさらに、推進協議会より連絡しました留意事項を十分に検討され、病虫害駆除のいっさい防除、施肥設計にもとづく効果的な施肥等、充分注意していただき、収穫期には少くとも一割以上の増収が期待されますよう格段のご努力をお願い申し上げます。

種目	面積 町	生産額概数		比率 %	備考
		千円	%		
水陸稲	1,252,222	792,350	48.8		あね
陸雑穀	344,525	19,000	1.2		大豆、なたね
工芸作物	344,525	34,493	2.1		そば、茶
養蚕	50	34,493	2.1		その他
野菜	50	47,322	3.0		施設露地
果樹	16	12,000	0.7		かん
畜産		3,300	0.2		鶏卵
合計		680,608	41.9		
		1,623,563			

「今度こそ政治が悪いといわぬ票」政治に無関心であってはなりません。私たちの生活が良くなることも、悪くなることも、政治であります。千万の署名にまさるこの一票を無駄なく、行使して責任をはたしましょう。

用務のため投票日に投票出来ない人は前日までに、不在者投票を役場選挙管理委員会にていたしましょう。尚詳細については、選挙特報をもってお知らせいたします

選挙管理委員会

一、県費補助事業による畦畔一斉防除 実施面積二〇〇町歩 事業費 一五〇,〇〇〇円

実施地区 六月十七日(予定)

二、県費補助事業による 稲作総合改善モデル集団栽培 実施面積は五町歩以上で、苗代作業からいっさい共同作業によるもの。 事業費 約六〇万円 実施地区 高樋地区集団二二名

三、田植え機械による 田植えの実演会の実施(機械業者三社による)

実施場所 高樋地区構造改善実施地区内

日 時 六月二十一日の予定

将来の機械化に備えてぜひご覧くださいようお願いいたします

経済課 長

よく選べ清き一票むだにすな

納税褒賞式の開催

去る5月30日町豊協会館において42年度の納税褒賞式が開かれ、良部落、優良たばこ小売人の表彰、連続5年以上の小组合長をされ、このたび、おやめになられた方に町長より感謝状と記念品が贈られました。

- ◎優良たばこ小売人表彰
高 桐 山口 操 殿
森 田 武次 殿
上ノ上 山中 崇夫 殿
馬場 鶴田 榮 殿
◎感謝状を受けられた方
中 教 内 門 秀義 殿
東 原 南 豊 秀 殿
森 南 木 殿
山ノ口 狩川 重雄 殿

昭和42年度町税収入状況及入賞部落数一覧表(始良町) 昭和43年5月25日現在

税目	調定額	収入済額	未収額	徴収歩合
固定資産税	30,494,970	29,984,550	510,420	98.33
町民税	21,333,310	20,976,387	356,923	98.33
個人町民税	(20,059,930)	(19,829,935)	(229,995)	(98.85)
法人町民税	(1,273,380)	(1,146,452)	(126,928)	(90.03)
自動車税	2,837,690	2,797,630	40,060	98.58
個人自動車税	15,589,470	15,589,470	0	100.0
消費税	7,356,884	7,356,884	0	100.0
木材引取税	339,160	335,000	4,160	98.77
合計	77,951,484	77,039,921	911,563	98.83
個人県民税	14,243,790	14,087,567	156,223	98.96

昭和42年度町税収入及入賞部落数の状況をおしらせします。(43年5月25日現在)

◎普通税徴収割合等別部落受賞数等

1. 調定制合	総調定額	部落等調定額	割合			
	92,195,274	36,742,960	39.85			
2. 収入割合	総収入済額	部落等納入額	割合			
	91,127,488	36,721,190	40.30			
3. 普通税部落受賞数	1等級	2等級	3等級	努力賞	等外	合計
	89	0	22	3	0	114

地震災禍地

吉松町よりお礼状

去る五月十日吉松町より次のとおりお礼状がまいりましたのでお知らせいたします。
(原文のまま)

お礼状

諸君、花江御縁の好時折となり益々御清平のこととお喜び申し上げます。さて、この度の当町地震災禍に当りましては、早速御懇篤なる御見舞を忝なく頂戴いたし町民一同有り難く感謝いたしております。

昭和四十三年二月二十一日午前

2. 国民健康保険税 (収入状況)

調定額	収入済額	徴収歩合	備考		
25,887,720	25,752,615	99.48			
国民健康保険税部落等徴収割合及等級別部落受賞数等					
1. 調定制合					
総調定額	部落等調定額	割合			
25,887,720	25,781,670	99.59			
2. 収入割合					
総収入額	部落等納入額	割合			
25,752,615	25,737,400	99.94			
3. 国民健康保険税部落受賞数					
1等級	2等級	3等級	努力賞	等外	合計
89	0	22	1	2	114

一早く温かい救援の手をさし伸べられ、しかも全国各方面から寄せられた義捐金は別紙の通り多額に達し今なお、この善意の救援は続けられております。まことに感激に堪えない次第でございます。

この温かい義捐金の使用につきましては、当町議会の議決に基づき当町被災者全員に配分していただきました。なお、残余の義捐金も早速その計画を樹立し、配分いたしたい所存であります。

皆様に寄せられました、この温かい義捐金と尊い救援の物資は当町の復興意欲に対し、物心両面より絶大な激励の賜となりましたことを町民一同深く信ずるものであります。これよりは災禍の復旧と復興に努力し一日も早く明るい生活に立ち戻るよう最善を尽し、もって皆様の善意の御支援に報いさして戴く覚悟でございます。

最後に当りまして、貴下の御馳参をお祈り申し上げますとともに関係の方々へも宜しくお伝えくださいますようお願い申し上げます。取り敢えず文面をもちまして、皆様の温かい御厚情に対し心から重ねて厚く御礼申し上げます。

昭和四十三年 月 日 敬具
鹿野島原始良町吉松町
町長 車 嘉 武
吉松町議会
議長 川 田 耕

始良町町民一同様

- 義捐金の内訳(町関係分)
- 始良町民一同 四〇,〇〇〇円
 - 山田中学校 二,一五一円
 - 帖佐中学校 八,〇三八円
 - 重富 四,七〇〇円
 - 木津志小学校 一,一二五円
 - 帖佐小学校 三,一八五円
 - 建島 六,五五〇円
 - 重富 五,三一九円
 - 山田 三,九一三円
 - 堂山 一,三七〇円
 - 三船 二,八四六円
 - 成美 二,五八〇円
 - 町役場職員組合 一五,〇〇〇円
 - 町民一同(二回目) 八〇,〇〇〇円
 - 町議会議員 七,〇〇〇円
 - 町福祉協議会 五,〇〇〇円
 - 町農業委員会 二,八〇〇円
 - 合計 一九一,五七五円也

アセモの

治療と予防に

アセモの葉
アセモの治療と予防に効く、新しいアセモの葉をナベかヤカンに入れておかし、その液をふるに入れてつかるか、タライに入れて行水する。
またアセモの葉でせんだ液で湿布するだけでも効果があります。子どもなどは寝ているとき十分か十五分ほど湿布しただけで、一晩たてば見違えるほどよくなると思います。

春の全国交通安全

運動を終えて

去る五月十一日から、二十日まで約十日間に亘って、春の全国交通安全運動が展開されて、これに呼応して始良町でも、交通安全町民会議をはじめ、各校区毎にある協会の役員諸氏の献身的努力によって、多大の効果があつたことはよろこばしい限りである。

特に国道一〇号線を酷している町長の願いも交通問題だけは真剣にならざるを得ない。町長自ら先頭に立ち、町民に対して交通安全の思想普及に任じられた。

帖佐駅前十字に立って、副券する諸車の流れを見ると、目がくら／＼するし、神経もピンと張りつめてくる。車を運転する人、自転車に乗って通勤通学する人、歩行者として充分交通ルールを身につけていべき人達が、やはりマナーの点が相当不足しているのは改めて、交通安全の重要性を身にしみた。

この旬間中に町民の中で、事故による被害者が三人出た。甚だ残念でたまらない。ということはこの旬間が不安全運動に終つたことに結論づけられる。

自動車は文明の象徴である。車の普及は社会進歩のパロメータだと言われる。たしかにそうかも知れないがこの事が一般社会通念としては反論しなくなる。それは「車は文明の破壊者であり人類の敵」としての責は考えられないがこの観点からすれば車の無責任な

販賣競争、無責任な所有、無責任な運転に惹いて反省の時点かも知れない。最近3C時代等とよくいわれているが、この真意は具所有について、外見上の利益性にまでおされていと思う。

交通事故、物価高、住宅難は都会人の三悪とされていたが、最近これが非となつて私達の星元にもしび寄つて来た。まるで伝染病の様に……来る日も来る日も交通事故の犠牲者は走る車器によって大量生産されて、今日元氣な人が、明日は元氣で生活できる保証は絶対にないと言つてよい。又自動車と人及び物が衝突し被害を受けた瞬間から交通犠牲者に待つてける運命は、非情と残酷そのものである。

更には人間対人間の闘いがはじまる。これら交通犠牲者の実態を知れば不安は恐怖にかわり、そのものすごさは誰もがおびえるであらう。人間の生命は絶対的に尊いし、地球より重いと云う。これは諷刺的に引用した名句であるが、この重いはずの人命が、評価に於て示談も調停も、和解も判決も快く高く評価されないのが現状である。事実はどうかと言ふと、生命が自動車の価格より安く見られて評価される如きは、お互いよく考えられてほしいものだ。

事故防止の一大キャンペーンにもかはらずこの様な事態解決の糸口は改善されない。交通事故が社会問題の一位に位するもの事故で生命を失ひ傷ついた方だけの問題でない理由もここにある訳である。昭和四十三年度は全国で約四百五拾万台の車が増える。そうして事故の死者も、これに併行して増えることは当然だとされるがこの様な状態が続くと十年後には民族興亡の計算になるそうだ。

これを以て文明も経済の発展もない。この解決策は政府に於ては勿論、地方自治体に於てもいろいろな面に於て研究し具體策を考慮されてほしいものである。

私達もこのあたりで非行者防衛としての思想を浸透させなければならぬが、なか／＼社宅もないそれには高路警備が要いために左右をキヨロ／＼して歩く以外に方法はないのかも知れない。これが不安全交通のもたらす弊害であるからと結論づけられる原因かもしれない。

自らのしあわせを

自らかちとるために

◎社会福祉実態調査(自六月一日至二十五日にご協力を) 民生委員 ありのままを話してください。

作家水上勉氏が「拝啓総理大臣

私達の生活の中で交通問題を無視した生活は現在に於て許されない一日中事故から解放された喜びを味い、不幸にして傷ついた人は被害の程度によって不運をかこつている。だが事故の結果がいかにあろうと平和な家庭に与えた影響は心配と等しく大きい。

あなたも、その立場におかれる確率は決して少くないことを更に反省してほしい。

このあたりで交通事故による悲劇と不幸を追放せねばならない。私もあなたも今一度昨年県から配布された交通読本をもう一度手にして自分に子供によく教育してほしいものである。そうして交通道徳をしっかりと身につけて正しい運転正しい歩行に精進して下さいことを念じ、私の交通の事故防止についての所感を町民の皆様に訴える次第であります。

町民会議副会長
県交通協方員
宮 崎 静 雄

通じて行なう「老人、身体障害者要保護児童、母子(未亡人)世帯実態調査」はこれに該当される人たち(世帯)の福祉に欠ける状態を正しくとらえて、こんどの福祉施策を大きく進展させるためのものです。

この調査が所期の目的を達するために、これに当てはまる人(世帯)がひとり残らず、ありのままを教えていただくことがぜひ必要となります。なおこの調査に当たる調査員及び関係機関は個人の尊厳をおかさないよう、すべての調査事項については慎重に取扱いますので、その点ご安心のうえ、ありのままを話していただくようご協力をお願いします。

比島戦没者の遺族団

慰霊碑の除幕式に参列

レイテ・ルソンの遺骨を安置した比島戦没者の慰霊碑の除幕式が去る4月20日南太平洋を望む開闢山麓の花瀬海岸で県知事、比島遺骨収集碑建立期成会高野会長、その他役員、遺族団多数参列、特別に自衛隊隊儀兵の参加があり、厳粛に行なわれました。

戦」の中に書いた心身障害児をもつ家庭の包み隠しのない記述が政府を動かし、これらの恵まれない児童や家庭の「しあわせ」を大きく前進させたのは、そのよい例といつてよいでしょう。

こんど県が民生(児童)委員を福祉課 福祉係

国民年金に加入しましょう

国民年金は、農業や漁業を営む人、自営業者やその家族、従業員の人たちに年金を支給して「年寄になったとき」「障害者になったとき」「母子家庭になったとき」の生活を国と皆さん方と共同で守ろうという趣旨で昭和三十六年四月から実施された年金制度です。

他の年金制度に加入している人や、それらの年金制度から年金を受けている人、その配偶者または学生を除いた二十才から六十才までの日本国民は、すべて国民年金に加入することが、福祉国家の一員としての義務となっています。

まだ国民年金に加入していない人が多いのは、国民年金というものが遠い将来のことと考えられがちですが、今からその準備をしようという気持ちに欠けているためでしょう。

ところが最近交通事故がひんぱんにおこり、いつ、どこで、どういふ事故にあうかわからない状態では、大きな障害を受けたとき、もらえる障害年金や、一家の大黒柱である夫をなくして母子家庭になったとき、もらえる母子年金などは、必ずしも遠い将来の問題といえないものとなってきています

また老齢年金を受けるには六十才までの間に二十五年以上掛金をするか掛金の免除を受けていることが必要です。

制度ができたときすでに相当の年をとっていた人は六十才までの

間に二十五年ありませんので、このように人たちは年令に応じて二十四年から十年までの間掛金をすればよいときめられていきます

現に昭和四十六年五月から老齢年金をもらう人がでてきます。

『明治百年記念』

中川原部落の「田の神」

「十二夜待ちの碑」を祭る

中川原部落では、祖先が部落にのこしていた「田の神」と「十二夜待ち」の碑が荒廃（あへすたる）していたので、去る四月二十一日、明治百年を記念して部落全員

が集まって、部落の田が見わたせる部落公民館横の敷地に工費一万円、新しくブロックかこのの祭殿をつくり、田の神と十二夜待ちの碑を盛大に祭った。

部落では今後、毎年四月の佳日（よきひ）に田の神を祭って、その年の豊作をお祈りし、また毎月十二日の夜を部落の定例常会とさだめると同時に、旅先にある家族兄弟の無事息災（身にわざわいなし）を祈って、祖先が残した遺風をしのぶことにしました。

この「田の神」は寛政三年（一七九一年）の作で「手かざし立像」である。

また「十二夜待ち」の碑は、寛延四年（一七五二年）三月十二日建立の文宅が刻んだもので、いまから二百十七年前のもので、家人の旅先での無事を祈って十二夜の月の出を待った行事の碑であります



（写真は田ノ神と十二夜待ちの碑）

原稿は中川原部落 郷土史編さん委員 小坂 厚氏提供

まわりの人が年金によって老後の生活を楽しむとき、ひとりとり残されてさびしい老後を過ごすことがないよう、まだ加入していない人は、今すぐ加入の手続きをして忘れずに掛金をするようにしましょう。

国民年金係

国分自衛隊の記念館

国分自衛隊に記念館があります

これは明治の日清、日露大戦以来大東亜戦争に至るまでの幾多の祖国防衛戦に参加されました。郷土の先輩諸氏の偉業を永く後世に伝えるために、県内有志の方々のご賛同を得まして、去る42年4月に開館されたものであります。

館内に展示されている遺品は、かつて我等の郷土部隊歩兵45連隊に職を奉ぜられた方々の分が主体でありまして、他に陸、海、空の部隊の方々のものも含んでおります。ぜひ一度ご覧ください。皆様にご自衛隊の記念館、また隊内見学（施設等）をしていただき、自衛隊存在の意義と認識を深められますようお願い申し上げます。

記念館内の展示品は

1. 日露戦役の遺品、日支事変の遺品、恩賜の銀時計、勲章、血染の日章旗、牛島、阿南大将等の遺品、この外、展示品は約五百点におよんでおります。記念館におきましては、こんご拡充を図るため、皆様方のご協力を望んでおられます。
- 皆様方のご家庭に旧陸海空等の品物（なんでも結構です）を保存しておられましたら、平和と独立を守る自衛隊、郷土の国分自衛隊にご協力（寄贈または貸与）いただきたいと存じます。この希望の方がございましたら始良町役場住民係にお知らせ願います。
- 記念館および隊内見学を希望の方はなるだけ多数（部落ごとか各種別ごと）月曜し土曜の間においでください。この間は係員が記念館、隊内（施設等）をくわしく

説明されます。一週間ぐらい前に通報（電話でも可）していただければ、なお幸いのごことです。

住民課自衛隊係

香典返し

- 町社会福祉協議会へ
- 四月十七日〜五月二十三日
- 一金貳千円也 故米良ハル様 75
 - 水流寺 米良 俊文 殿
 - 一金五千円也 故中島チヨガサ横 99
 - 村田貞治 中島清志 殿
 - 中島清教 安田フミ 殿
 - 一金参千円也 故木場ノイ様 80
 - 春花上 木場 武春 殿
 - 一金三千円也 故豊留ミチ子殿 57
 - 城下 豊留ミチ子殿
 - 一金貳千円也 故下藤元保雄様 57
 - 白金原 故下藤元保雄様 57
 - 納屋 故八平礼金助様 67
 - 納屋 故八平礼ヤナ殿 67
 - 一金五千円也 故大久保憲行様 85
 - 大久保行夫 殿
 - 駅前 故大久保行夫殿
 - 一金五千円也 故藤田敏一様 25
 - 大小路 篠田 秀行 殿
 - 脇元 故竹下吉之助様 70
 - 脇元 故竹下キクエ殿 70
 - 高樋 故横山タカ方也 84
 - 横山 貞文 殿
 - 一金五千円也 故田中三郎様 54
 - 山野 田中トシ子 殿
 - 東原 故米満美代子様 49
 - 米満 篤史 殿
 - 故南 故南亀太郎様 93
 - 南 盛義 殿
 - 一金五万円也 故小山 繁様 74
 - 堂山 故小山 繁様 74
 - 内山田 故西 守守様 71
 - 西 ツル 殿
 - 一金参千円也 故西 キサ様 82
 - 高樋 西 静大 殿
- ◎特志寄附◎
- 一金壹万円也 西之妻 安田 俊江 殿
- かねて入院中のところ、このほど全快退院されましたが、お見舞返りの意味で寄附されました。ありがとうございます。